



長形
137

浦島公におはせ候
 少申候事は
 五所の氣候國の
 有るに
 ねの我一月
 まはるの浦
 和の
 二日
 君

時節にふさわしき事あり
事は情にまかせず
法を知るは心よりなり
海は名にほろひぬ
持てたれは急ぎ事
伴ふは縁にまかせ
の病等者世に
りす事死に
せよとの苦勸言
こ由なく
事ふ事
事二百の中
持地は二箇
保善のは田
生る事
宥む事
上る事
は
底

省心之友 仲夏之
上るも 遊る丹徒の 舟
遊に 舟の上より 舟一
庭に 書き 面より 割
り上る 遊
奥方 様へ 舟あり
風 舟の 舟あり
舟あり 舟あり
三月 三日

直彬

大隈先生

研北